

## てがたんレポート Vol. 3 No. 10 (2006年10月：通巻31号)

- ★観察コース：鳥の博物館（受付と今日の予定確認）→3.5.15号線沿いに香取神社前  
→田んぼを横切り遊歩道→遊歩道沿いかっぱの噴水前でまとめ・解散
- ★観察日時／天気：2006年10月14日（土）10:00～12:00／くもり
- ★参加人数：20人（うち小中学生以下3人、うち新参加者2人）
- ★観察案内&記録：  
・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊東茂子、小野寺喜四郎、木村稔、  
小泉伸夫、染谷迪夫、中野久夫、弘貴さと子、古川克彌（以上市民スタッフ8人）○  
時田、斉藤、岡、村松（以上職員4人）○

今回のテーマ  
・秋をさがそう

### 観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

#### ★観察した生き物

【鳥類】 カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、オナガガモ、スズガモ、オオタカ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、スズメ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス（外来種や家禽）コブハクチョウ、シナガチョウ、バリケン、ドバト

#### 【虫】

- ・チョウの仲間：ヤマトシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、キアゲハ、キチョウ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、イチモンジセセリ、キタテハ
- ・チョウやガの幼虫：キロスズメガ、アメリカシロヒトリ
- ・カメムシの仲間：ヨコズナサシガメ、セミの仲間の卵（樹幹に産卵）
- ・カマキリの仲間：チョウセンカマキリ
- ・バッタの仲間：コバネイナゴ、トノサマバッタ、ショウリョウバッタ（以上バッタの仲間）、エンマコオロギ、オカメコオロギ、シバスズの声、マダラスズ（以上コオロギの仲間）
- ・トンボの仲間：ノシメトンボ、アキアカネ

#### 【クモ】

オニグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ、ヒメグモの仲間

#### 【そのほかの動物】

ニホンアマガエル（両生類）、カナヘビ、アオダイショウの抜け殻（は虫類）

#### 【花】

- ・黄色：スベリヒユ、オオジシバリ、オニノゲシ、アキノノゲシ、イヌガラシ、カタバミ
- ・青・紫：トキワハゼ、スズメノトウガラシ、キュウリグサ
- ・赤：イヌタデ、ハナタデ
- ・白：タカサブロウ、アメリカタカサブロウ、タネツケバナ
- ・その他：アメリカセンダングサ、タウコギ、コセンダングサ、コシロノセンダングサ、ヨモギ（以上キク科）、ホソバアオゲイトウ（ヒユ科）、イヌタデ、ハナタデ、ミソソバ、ママコノシリヌグイ、イシミカワ（以上タデ科）、タマガヤツリ（カヤツリグサ科）、スズメノヒエ、ケイヌヒエ、イヌヒエ（以上イネ科）

#### 【実】

シロダモ、ムク、エノキ、シュロ

# 10月の観察アルバム



2m近いアオダイショウの抜け殻を観察。

ケツアールを発見！  
\*現地でケツアールと呼ばれるこの鳥は、カザリキヌバナドリと言われる中米グアテマラの国鳥にもなっている美しい鳥です。



「ひっつきむし」がたくさん。



オオナモミ



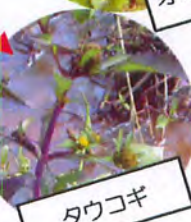
アメリカセンダングサ



コセンダングサ



シロノセンダングサ



タウコギ



①

遠く、上空をオオタカが通り過ぎてゆきました。



②

変身その1



渡来したばかりのカモはまだきれいな繁殖羽になってません。徐々に体の羽毛が換羽してゆきます。写真はオナガガモの雄。



変身その3



③



③

変身その2

背景の色に合わせて体色変化するニホンアマガエル。



⑤

カッパの噴水前には約130羽のオナガガモが飛来していました。



9月には花を咲かせていたアカバナも、10月には鞘(さや)の先が割れて、種子を飛ばしていました。

